

■埼玉サークル2019年度事業計画(案)

2019年度の埼玉サークル事業計画案がまとまりました。

発足50周年記念事業

- 発足50周年記念例会(2月例会) 記念講演と懇親会を予定
- 発足50周年記念旅行 2020年春に鉄道に関する宿等への1泊旅行
- 発足50周年記念品 記念プレートを予定
- 埼玉サークル50年の記録取り纏め

月例会

毎月1回 12回開催(原則第2火曜日夜間)
8月・10月・2020年1月の例会は休日午後の開催予定
(2020年2月例会は発足50周年記念例会)

行事

- 納涼旅行会 (7月21日(日)予定)
- 撮影会 (未定)
- 模型運転会 (秋)
- その他 鉄道映像をみる会(3月予定)
忘年会(12月22日(日)午後 予定)

会議

幹事会 毎月1回(12月を除く)11回開催

■月例会の予定

5月14日(火)、6月11日(火)、7月9日(火) 19:00~21:10
浦和コミュニティセンター 第4集会室 参加費:200円

■3月例会報告

3月12日(火) 浦和コミュニティセンタ 第4集会室 19:00~21:10 参加 8名

情報交換 原鉄道模型博物館で3/25まで企画展「西の蒸気機関車達」が開催されている。6/30-7/7沼津駅南口沼津商連会館で「まちおこし鉄道写真展2019」(主催 鉄道友の会静岡支部・静ヌマガ写くらぶ)が開催され、7/7には国鉄沼津機関区100年史編纂委員長 山梨孝夫さんの鉄道トーク「沼津から始まった静岡県の鉄道史」も行われる。

3/16JR東日本ダイヤ改正で、中央線の「中央ライナー」、「青梅ライナー」が廃止、特急「はちおうじ」、「おうめ」が新設される。山手線内回り品川行き最終列車の発車時刻が28分も早くなる。

3/17彩の国ビジュアルプラザ映像公開ライブラリーコンテンツ活用講座「平成を「大宮駅」で振り返る大宮駅物語」が、SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ映像ホールで開催される。

報告 山陽新幹線と九州新幹線・上越市内と糸魚川市内にて(別紙資料) 他

映像 関東鉄道竜ヶ崎線・阪堺電軌・南海・近鉄奈良線他

頒布資料 PALETTE(3月)、ダイヤ改正 2019 3.16土曜日(JR東日本)、鉄道博物館企画展「鉄道マンの仕事アルバム」、原鉄道模型博物館「西の蒸気機関車達」、彩の国ビジュアルプラザ映像公開ライブラリーコンテンツ活用講座「平成を「大宮駅」で振り返る 大宮駅物語」、山陽新幹線と九州新幹線・上越市内と糸魚川市内にて(会員作成)、他パンフレット類

■鉄道映像をみる会 報告

3月24日(日) 浦和コミュニティセンター 第9集会室 13:30~16:50 参加10名

情報交換 下北沢駅改良工事で3/16小田急と京王の改札が分離され、小田急中央口と京王中央口が開設、小田急線と京王井の頭線の乗換えは一度改札を出ることになった。

JR日光線に205系600番台Y3編成(4両)を片側2扉、クロスシートに改造した「いろは」が走っている。2/20-4/16・6/20-9/24JR北海道とJR東日本の普通列車7日間乗り放題の北海道&東日本パス(10850円)が発売中。別に北海道特急オプション券(6000円)を購入すると北海道新幹線(新青森-新函館北斗)とJR北海道の特急列車自由席が1日間乗り放題となる。他

映像 大宮ものがたり・雪の行路、秩父鉄道の貨物列車、1979・1980年の板谷峠・1977年の国鉄身延線沼久保付近と国鉄東海道線富士川橋りょう・フィルムのデジタル化、リニア新幹線建設工事

頒布資料 日光線いろは、北海道&東日本パス、他パンフレット類



2020年に50年を迎える埼玉サークル(6)

東京で56年ぶりにオリンピックが開催される2020年に埼玉サークルは発足50年を迎えます。会報にスペースがあるときに埼玉サークルの記録ファイルの中からかつての記録をご紹介します。

発足3周年記念行事(会員作品展(1973年1月13-15日)・特別例会(1月14日) 埼玉会館)

1973年初頭、発足3周年を迎えた埼玉サークルは、埼玉県の文化の殿堂埼玉会館で記念行事として会員作品展(1月13-15日)と特別例会(1月14日)を開催しました。

会員作品展は、その名の通り、サークル会員の手による写真80点と収集資料などの展示と鉄道模型の運転を行い、鉄道模型は年少ファンの注目を浴びました。来訪者には記念スタンプの押印や入場記念券を配布して好評でした。期間中の総入場者数は約1000名で、この模様は同年1月14日付の東京新聞埼玉版と埼玉新聞に報じられています。なお、本島三郎さんから写真、中山沖右衛門さんからは古今の乗車券、酒井喜房さんからも鉄道模型と実物部品を特別出品していただき、内容の充実をはかることができました。



会員作品展の様子 1973. 1. 14

特別例会は、会員作品展にも特別出品いただいた浦和市(現さいたま市浦和区)在住の鉄道ファンの大先輩、「鉄道」、「スイスの鉄道」等の著書でもご高名な本島三郎さんをお招きして、鉄道写真について豊富なご経験から講演をいただきました。その後は昭和28年頃の特急つばめを描いた「つばめを動かす人々」、国鉄の近代化をルポした「国鉄21世紀をめざして」の映画2編と中村会員撮影の8ミリ映画「足尾線のSL」の上映が行われました。参加者は44名。

報告はレイルファン誌1973年4月号(No. 235)

■「人はみな悲しみの器。頭を垂りて心ただよふ夜の電車に」(岡野弘彦)。希望に燃えて就職しても、いいことづくめとはいかない会社勤め。失意も困惑もやがては上がる通り雨。濡れていけばいい(読売新聞編集手帳2017. 3. 31)。私ごとですが退職して8年。勤めていたときは次々と際限なく出てくる課題に当惑しながらも、今となってはよく定年まで勤まったものだと思っています。かつては就職や入学、退職等を機に春から月例会へ参加され始めた方も多かったのですが、会員の高齢化で衰退していく鉄道友の会では残念ながらめっきり少なくなりました。(F)

埼玉サークルは、中高生会員の皆さんが参加しやすいよう、例会・行事の参加費を免除しています